

●交流人口の拡大

近年の歴史ブームにより片倉小十郎公が全国的に認知され、多くの観光客が来白しています。加えて昨年は白石戦國武将隊「奥州片倉組」が結成されるなど、戦国観光と称される分野も観光素材となっています。従来の蔵王山麓自然観光、温泉などの「泊」との連携を強くしたテーマ性ある観光ルート化を推進し、また、四季折々のイベントを市民の皆さまとともに盛り上げ、交流人口の拡大を図ります。



鬼小十郎まつり

■美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち

「美しい自然」

白石は白石川や蔵王連峰などに代表される美しい自然、田園風景や街なかの掘割などの美しい景観に恵まれており、これらの自然や景観を地域の宝として受け継ぎ、心癒やされるまちづくりを推進していきます。

「安全・快適」

自然災害や犯罪被害などの社会的な不安に対して、地域の支え合いでその抑制に努めるとともに、公的な支援体制を強化し、安全で快適なまちづくりを進めます。

また、これまで整備されてきた都市施設と高速交通網などのネットワークを活用することにより、便利で快適なまちの実現に取り組みます。

●防犯・防災対策の充実



防災・防犯対策をより充実させる必要があります。自助である災害への備えの啓発や共助である地域住民同士での助け合いが必要不可欠なことから、自主防災組織の育成支援や災害想定訓練への支援を継続して実施します。

また、災害に立ち向かうとき、大きな力を発揮するのが消防団です。本市消防団は、県内屈指の消防力と機動力を誇っておりますが、消防団員不足が全国的な課題となっているため、自治会との連携はもちろん、消防団協力事業所の認定を行い団員の確保を図ります。

■効率的な市民サービスの推進

●行財政改革の推進

厳しい財政状況下でも持続可能な効率的で質の高い行政サービスの実現を目指し、引き続き「白石市行財政改革推進計画（集中改革プラン）【改訂版】」に基づき、業務効率化、歳入確保、歳出削減など、より一層の行財政改革を推進します。

また、4月から「あしたば白石」に指定管理者制度を導入。新たに市民有志により設立されたNPO法人に同施設の管理運営を委ねるのを始め、NPO、各種ボランティア団体などの育成・支援を図り、行政と市民がそれぞれの役割を分担し補完し合う「成熟したパートナーシップ」の構築を目指します。

●事務事業の効率的な評価

行政の透明性向上と職員の意識改革を図ることを目的として実施してきた「事務事業評価」は、評価対象や指標などの改良により効率的・効果的に評価を実施し、第五次総合計画や予算編成などとの連携も視野に入れながら、市民サービスの維持向上に努めます。

■人・暮らし・環境が活躍する交流拠点都市へ

これらの施策を着実に実行し、行財政改革による健全財政に努めながら、人口減少社会と少子高齢化社会の進展に対応し、雇用確保のための企業誘致や、子育て支援対策、安全・安心なまちづくりなど、直面する課題を克服するために邁進します。

現在、地元農家の販路確保と地域産業の振興のためNPO法人「小十郎まちづくりネットワーク」が設立され、旧白石市地方卸売市場で賑わいを創出しているほか、白石の歴史資源に

■主な事業 子育て支援 観光振興・地域交通

●放課後児童クラブ補助金 事業費…125万9千円



大平地区に大平公民館運営会議が実施主体となって運営する「大平放課後児童クラブ」が4月から開設。市では、保護者の就労などにより昼間の家庭において保護を受けることができない大平小学校に通学する登録児童に、小学校の余裕スペースを活用して放課後に児童が安心して活動できる場を確保し、児童の健全育成と保護者の就労支援を図るため、運営費の一部を助成します。

●環境対策の推進

きれいで豊かな水をはじめとする恵まれた自然環境を次世代に引き継ぎ、地球規模の課題である温暖化対策のためにも、環境に配慮した「もったいない運動（しろいしエコプロジェクト）」に引き続き取り組みます。環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚やクリーンエネルギーの普及推進を図るため、平成22年度に創設した「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」を引き続き実施します。

また、市民の皆さまなどに御協力いただきリサイクル報奨金などの環境保全に貢献する活動へ助成し、さらなるごみの減量化とリサイクルを推進します。

●白石市観光大使設置費

事業費…20万円

本市の文化、歴史、豊かな自然環境、特性を生かした地域ブランドや観光情報を広く紹介し、本市の観光振興とイメージアップを図るため、白石市観光大使を設置します。

●市民タクシー事業

事業費…217万6千円

公共交通空白地域において、市役所などの公共施設の利用や通院、中心商店街利用のための交通手段として、地域内拠点と城下広場間を乗り合いによるタクシーの運行を行っています。平成23年度は、これまでの路線に加えて、要望のある地域とルートや運行時刻などで合意形成がなされた「小久保平線」「小下倉線」「大平坂谷線」の3路線の試験運行を実施します。



白石戦國武将隊「奥州片倉組」に10人目のメンバーに「阿梅姫」が認定！ 白石城の前で政宗公、景綱公とともに記念撮影

東日本大震災は、今までに経験したことがない大惨事であり、本市においても最大2千人の市民が避難所生活を余儀なくされました。また、公共施設なども甚大な被害を受け、復旧までの道程は遠い状況にあります。しかし、ご支援くださった皆さまの善意に報いるためにも、4月1日、復興対策室を設置し、復興に向け取り組んでいくことにしました。これから白石市、宮城県、東北の復興に向けて、全力を尽くしてまいりますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

白石市長 風間 康静